



市史へんさん

第170号

平成25年5月1日
小松市史編纂事務局
へんさんだより

風薫るさわやかな季節を迎えました。皆様いかがお過ごしでしょうか。4月は気温の変化が激しく肌寒い日もありましたが、5月は暖かく過ごしやすい日々になってほしいですね。

古文書講座

講師：木越隆三 金沢城調査研究所所長

小松の十村支配と 十村文書を読み解く

3/10・20・30 **会場満員!!** 参加人数延**173名** 初参加**39名**



会場：公会堂4階 大会議室

1回目は十村を学び、村御印を読み取りました。2回目は十村代官について説明され、十村文書を解読しました。最終の3回目は藩の農村支配や石高制について解説され、読み解く文書も、レベルアップ。石黒家文書の中の公用留を取り上げ、石黒源丞が改作奉行所に送った嘆願書を読みましたが、急にくずし字が難解になり、古文書を書き下す難しさを実感したのではないかと思います。

全3回ともたくさんの方に参加していただき、ありがとうございました。

第3回 アンケート結果



* 古文書講座はいかがでしたか？

- ・ 分かりやすかった 14人
- ・ まあまあ理解できた 11人
- ・ ほぼ理解できた 10人

* 古文書講座で何を学びたいですか？

- ・ 古文書を読めるようになりたい 25人
- ・ 古文書が書かれた時代の歴史を知りたい 24人
- ・ くずし字を学びたい 9人

* 古文書講座開催の頻度（年3回）について

- ・ 特定の月に3回（現在と同じスタイル） 24人
- ・ 1年を通して、4ヶ月に1回くらい 15人
- ・ 毎月1回 3人

【ご要望・ご希望】

- ・ 地方史を学びたいので新たな視点で続けて欲しい
- ・ 加賀藩の代表的な文書について学びたい。
- ・ 年6回の、前期3回、後期3回でやってほしい



藩主も食べた！小松うどん

“加賀藩シリーズ”第2弾として、「武士の献立」の撮影が進んでいますが、その舞台となるのが加賀藩御料理人を代々務めた舟木家です。その二代目安信の書き残した雑記に、『料理秘伝書』があり、この中に、「小松うどん」の載った文面を綿抜豊昭筑波大学教授が見つけてくれました。

これには、「干うどんハ洗ハズシテ宜シ。小松干うどん、至テ煮エカネ、酒煮ヨシ」とあります。小松の干しうどんはなかなか煮えなかったということも興味深いですが、安信の活動時期に藩主が小松の干しうどんを召し上がっていた可能性のあることが注目されます。

松尾芭蕉のころには、贈りものになっていたから、ひょっとしたら前田綱紀も食したかもしれないと想像するのは楽しい。

酒煮はのびないというので、この地の銘酒で煮た小松うどんはさぞかし絶品でしょう。

「平成 25 年度 市史講座」

市史講座は**6月16日**開催予定です。
詳細は次号でお知らせします。
今回の古文書講座の資料が残っています。
ご希望の方は資料をお渡しいたしますので
市史編纂事務局までお越し下さい。

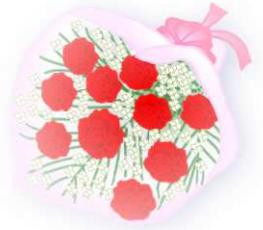


<事務局 4 月の活動報告>

- ・ 4 月 3 日(水) 方言内容打合せ
- ・ 4 月 13 日(土) 長吉寝獅子動画撮影
- ・ 4 月 17 日(水) 民俗昔話構成会議
- ・ 4 月 20 日(土) 近世村方部会
- ・ 4 月 24 日(水) 美術工芸部会

<事務局 5 月の活動予定>

- ・ 5 月 16 日(木) 近世村方部会
- ・ 5 月 17 日(金) 産業部会編成会議



<5月のカレンダー>

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

は小松市史編纂事務局(図書館 2 階)が閉室しています。

市史編纂担当 (小松市教育委員会生涯学習課)

- ・ 住所 〒923-8650 小松市小馬出町 91 番地
- ・ TEL 0761(24)8274 ・ FAX 0761(23)3563

・ E-mail hensansitu@city.komatsu.lg.jp

・ URL <http://www.city.komatsu.lg.jp/shishihensan/index.html>

小松市史編纂事務局 (小松市立図書館 2 階)

- ・ 住所 〒923-0903 小松市丸の内公園町 19
- ・ TEL 0761(24)5315 ・ FAX 0761(22)9763